| 学校番号 | 2101 |
|---|---|

# 令和８年度　理科

| 教科 | 理科 | 科目 | 科学と人間生活 | 単位数 | ２単位 | 年次 | 全年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「改訂版　科学と人間生活」（数研出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 「新課程　科学と人間生活　準拠　サポートノート」（数研出版） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「虹はどうしてできるのだろう」「電波って何」「着ている洋服の素材にはどんなものがあるのだろう」「発酵食品はどうやって作られているか」「日本に四季の気候の変化が訪れるのはなぜ」など疑問に感じたことはありませんか。そのような日常生活の中で感じる身近な疑問には、すべて科学が関わっています。実験や実習を通して、身の回りにある科学と人間生活を学び、疑問を解決していきましょう。

## 2　学習の到達目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

【知識及び技能】

自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】

観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身につけている。 | 自然の事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 | 自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前半 | 科学技術の発展 | 人間生活の歴史 | a:科学技術の発展の歴史について時系列的に理解することができる。<br>b:未来の科学技術の発展について、考えることができる。<br>c:身のまわりの科学技術について、調べようとする。 | 単元テスト<br>ワーク | 単元テスト<br>プリント | 授業態度<br>自学ノート |
| | 宇宙や地球の科学 | 太陽と地球<br>・日本の四季と気象災害<br>・大気の大循環<br>・太陽の構造と太陽放射<br>・天体の運動と海洋 | a:日本の四季の気候の特徴、梅雨前線がなぜできるか、温帯低気圧や台風が何によってどのように動くかを説明することができる。<br>b:日本周辺の気圧配置に影響を及ぼす、地球規模で吹く風について理解することができる。<br>c:太陽の天体としての特徴と、太陽放射エネルギーの量や特徴について理解しようとする。 | 単元テスト<br>ワーク | 単元テスト<br>実験実習<br>プリント | 授業態度<br>自学ノート |
| | 生命の科学 | 微生物とその利用<br>・身のまわりの微生物<br>・発酵食品への微生物の利用<br>・生態系の中の微生物 | a:発酵および発酵食品について理解することができる。<br>b:発酵食品と微生物との関わりを考えることができる。<br>c:微生物が人間生活のさまざまな場面に役立っていることを理解しようとする。 | 単元テスト<br>ワーク | 単元テスト<br>実験実習<br>プリント | 授業態度<br>自学ノート |
| 後半 | 光や熱の科学 | 熱の性質とその利用<br>・温度と熱<br>・仕事とエネルギー | a:物体をつくる粒子が熱運動をしていることを理解することができる。<br>b:熱量の保存について理解することができる。<br>c:エネルギーには、いろいろな種類があることを理解しようとする。 | 単元テスト<br>ワーク | 単元テスト<br>実験実習<br>プリント | 授業態度<br>自学ノート |
| | 物質の科学 | 衣料と食品<br>・衣料と繊維<br>・食品と栄養素 | a:原料や成りたちによって分けられる繊維の分類と特徴について理解することができる。<br>b:デンプン・タンパク質・油脂について、消化と吸収のしくみを説明することができる。<br>c:私たちが食品から取りこむ栄養素の種類について理解しようとする。 | 単元テスト<br>ワーク | 単元テスト<br>実験実習<br>プリント | 授業態度<br>自学ノート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度